

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成28年1月28日(2016.1.28)

【公開番号】特開2015-110132(P2015-110132A)

【公開日】平成27年6月18日(2015.6.18)

【年通号数】公開・登録公報2015-039

【出願番号】特願2015-57406(P2015-57406)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成27年12月2日(2015.12.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、前記有利状態に制御するか否かを決定する事前決定手段と、可変表示が開始されてから表示結果が導出表示されるまでに一旦仮停止させた後に可変表示を再度実行する再可変表示を所定回実行する再可変表示実行手段と、

前記事前決定手段の決定結果にもとづいて、予め定められた順番に従って 1 段階から複数段階まで演出の態様を段階的に変化させる予告演出であり、少なくとも前記有利状態に制御する場合は該有利状態に制御しない場合よりも高い割合により予め定められた段階まで演出が行われるステップアップ予告演出を決定する予告演出決定手段と、

前記予告演出決定手段により決定された前記ステップアップ予告演出を実行する予告演出実行手段とを備え、

前記再可変表示が実行されるときに、一の可変表示において実行する前記ステップアップ予告演出と比較して、該一の可変表示の後に実行される可変表示において、期待度が高い前記ステップアップ予告演出を実行可能であり、

前記予告演出決定手段は、

前記ステップアップ予告演出として第 1 ステップアップ予告演出を決定する第 1 ステップアップ予告演出決定手段と、

前記ステップアップ予告演出として前記第 1 ステップアップ予告演出とは異なる第 2 ステップアップ予告演出を決定する第 2 ステップアップ予告演出決定手段とを含み、

前記予告演出実行手段は、前記ステップアップ予告演出として前記第 1 ステップアップ予告演出と前記第 2 ステップアップ予告演出とを可変表示中に並行して実行可能であり、

前記第 1 ステップアップ予告演出と前記第 2 ステップアップ予告演出とは前記有利状態に制御する場合に予め定められた段階まで演出が行われる割合が異なり、

前記再可変表示が実行されるときに、可変表示の各々において、1 段階からいずれかの段階まで演出の態様を段階的に変化可能である

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能なパチンコ遊技機やスロット機等の遊技機に関する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

本発明による遊技機は、可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、有利状態に制御するか否かを決定する事前決定手段と、可変表示が開始されてから表示結果が導出表示されるまでに一旦仮停止させた後に可変表示を再度実行する再可変表示を所定回実行する再可変表示実行手段と、事前決定手段の決定結果にもとづいて、予め定められた順番に従って1段階から複数段階まで演出の態様を段階的に変化させる予告演出であり、少なくとも有利状態に制御する場合は該有利状態に制御しない場合よりも高い割合により予め定められた段階まで演出が行われるステップアップ予告演出を決定する予告演出決定手段と、予告演出決定手段により決定されたステップアップ予告演出を実行する予告演出実行手段とを備え、再可変表示が実行されるときに、一の可変表示において実行するステップアップ予告演出と比較して、該一の可変表示の後に実行される可変表示において、期待度が高いステップアップ予告演出を実行可能であり、予告演出決定手段は、ステップアップ予告演出として第1ステップアップ予告演出を決定する第1ステップアップ予告演出決定手段と、ステップアップ予告演出として第1ステップアップ予告演出とは異なる第2ステップアップ予告演出を決定する第2ステップアップ予告演出決定手段とを含み、予告演出実行手段は、ステップアップ予告演出として第1ステップアップ予告演出と第2ステップアップ予告演出とを可変表示中に並行して実行可能であり、第1ステップアップ予告演出と第2ステップアップ予告演出とは有利状態に制御する場合に予め定められた段階まで演出が行われる割合が異なり、再可変表示が実行されるときに、可変表示の各々において、1段階からいずれかの段階まで演出の態様を段階的に変化可能であることを特徴とする。